

平成23年度 成人病健診、人間ドック、 婦人科健診、歯周病検診の結果について



平成23年度の成人病健診、人間ドック、婦人科健診、歯周病検診に係る受診結果をお知らせします。

◆ 成人病健診

対象者：30歳以上の組合員（定期健診と併せて実施）

検査内容：胃部検査、心電図検査、眼底検査（40歳以上の組合員）、血液検査

（単位：人、％）

対象者	受診者	受診率	異常なし	要治療者	要治療率	精検該当者	精検率
5,407	4,274	79.0	3,463	82	1.9	729	17.1

◆ 人間ドック

対象者：35歳以上の組合員及び被扶養者
（事前申込みが必要）

（単位：人、％）

申込者数	受診者数	受診率
8,122	6,856	84.4

◆ 婦人科健診

対象者：30歳以上の女性の組合員及び被扶養者
（事前申込みが必要）

（単位：人、％）

申込者数	受診者数	受診率
2,762	2,073	75.1

◆ 歯周病検診

対象者：40歳以上の5歳刻み節目年齢組合員

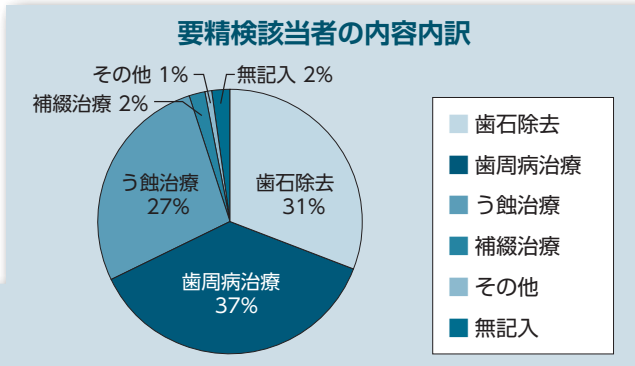
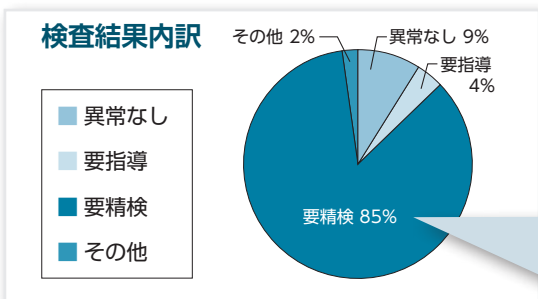
（単位：人、％）

対象者数	受診者数	受診率
2,061	255	12.3

各種健(検)診は、生活習慣病をはじめとする様々な病の早期発見・早期治療を目的としています。自分はもちろん家族のためにもこれらの健(検)診を利用し、自身の健康状態を把握した上で健康維持に努めましょう。皆さんの積極的な受診をお願いします。

◆ 歯周病検診結果詳細と喫煙習慣について

- 歯周病検診受診者のうち、約9割の方が要指導・要精検に該当しています。



- 受診者のうち、たばこを時々吸う、又は毎日吸うと答えた方は全体の20%でしたが、その全員が歯周病検診において要指導若しくは要精検に該当しています。
- 歯周病検診受診者のうち、高血圧・心臓病・糖尿病・腎臓疾患・肝疾患・貧血・血液疾患・感染症などの疾病罹患者は69人おられ、歯周病検診結果が「異常なし」であった9人はその全員が、喫煙習慣のない方でした。逆に喫煙習慣のある14人は全員が要精検と判定されています。
- 「要指導」、「要精検」に該当したのは59人ですが、軽度であったのはほぼ喫煙習慣のない方という結果でした。

	禁煙	時々吸う	毎日吸う	合計
異常なし	9			9
要指導	2			2
要精検	43	2	12	57
その他	1			1
合計	55	2	12	69

喫煙と歯周病との関係は密接で、喫煙者は①歯周病にかかりやすく、②悪くなりやすく、③治りにくいことがわかっています。特に1日の喫煙本数や喫煙を続けてきた年数が多くなるほど、その傾向が高まります。

タバコを吸うと、歯周病の原因となるプラークのなかの病原菌の感染を許すことになり、そしてこの病原菌は歯周病を発症させ、歯の周りの組織を破壊します。また歯ぐきの毛細血管が必要以上に収縮して血行を悪くしたり、歯のまわりの細胞たちの動きを悪くして、治療後の傷の治りを遅くしたりします。

そのため、歯周病予防や、歯科医師による治療が円滑に進むのを助けるためには「禁煙」が必要です。

歯周病になると、糖尿病や心筋梗塞などの心臓血管疾患等の生活習慣病を患う確率が高くなります。

「百害あって一利なし」喫煙習慣のある方、節煙ではなく、禁煙しましょう!!